TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

主は王である 私たちの内面の戦い
ヤコブの手紙 4:1-10

2022年12月10日&11日
余沢 武 牧師

Ⅰ はじめに

こんにちは。もう一度お伝えしますが、今年は「クリスマスイブ礼拝」を２回、「クリスマス礼拝」を４回行います。チラシが後ろにありますので、友だちを招待するためにお用いください

ヤコブの手紙を学んできました。

信仰深いクリスチャンになるために、他の人に手を差し伸べ、他の人に明け渡し、他の人に従い、他の人に憐れみを与えることにより、私たちは舌を制御し、神の知恵を持ち、神がすべてを支配しておられること、神に完全に信頼すること、神の御言葉に従うことを心に留める必要があります。

今日は、なぜクリスチャンがまだ人々と「争う」ことがあるのかについて見ていきましょう。では、お祈りしましょう。

Ⅱ 私たちの内面の戦い

(1)戦いの原因

ヤコブの手紙４章１節から３節を見てみましょう。

「あなたがたの中の戦いや争いは、どこから起こるのですか。あなたがたの体の中でうごめく欲望から起こるのではありませんか。あなたがたは、欲しがっても得られず、人を殺します。また、熱望しても手に入れることができず、争ったり戦ったりします。得られないのは、求めないからです。求めても得られないのは、自分の欲望のままに使おうと、よこしまな思いで求めるからです。」

ヤコブは「あなたがたの中の戦いや争いは、どこから起こるのですか。」と尋ねています。クリスチャンは、「平和の君」であるイエスに従う者です。そうであるならば、私たちは、世界で一番平和な人々であるべきです。しかし、どういうわけか、常にそうであるとは限りません。

もしかしたら、自分が不快感や恨みを抱いていることに気づくかもしれません。例えば、

あまり親切ではない教会の兄弟姉妹
部屋の掃除など、簡単なできるようなことをしない夫や妻
管理スキルがあまりない、または態度が悪い上司や同僚

これらは些細なことに聞こえるかもしれませんが、これらの感情が私たちの人生をみじめなものにするのです。しかし、「平和の君」であるイエスに従っている者なのに、なぜそのように感じるのでしょうか。

ヤコブは次のように説明します。彼は、「それらは、あなたがたの心の中でうごめく欲望から起こるのではありませんか。」と問いかけ、実は問題は私たちの内面にあると言いました。そして、二つの問題を指摘しました。

「得られないのは、求めないからです。」とヤコブは言っています。言い換えると、私たちが祈っていないからです。自分たちが欲しいものを受け取るためには、神の助けに依り頼む必要があることを見過ごしているからです。自分の知恵、力や努力によって手に入れることができると自分に期待しているのです。

つまり、このような人間関係の問題があるのは、私たちが神に依り頼む必要があることを見過ごしているからだ、と彼は言うのです。

ヤコブによると、求めても得られないのは、「自分の欲望のままに使おうと、よこしまな思いで求めるから」だと言います。ここで、ヤコブは私たちの祈りをお金に例えています。私たちが、自分の娯楽、欲望、そして野心などの間違ったものを買うためにすべてのお金をつぎ込んでいるかのように例えています。

つまり、もし自販機にすべてのお金を投入しドリンクを買いたいとします。その時、別の自販機のボタンではなくーまさに飲みたいドリンクのボタンを押すことが必要になります、さもないと、いつまで押しても何も出てきません。 同じように、私たちが神に祈るとしても、神が与えてくださるものを求める必要があります。「御心がなされる」のであり、「私たちの思いがなされる」のではないのです。

そのためには、信仰によって「神」と「神のタイミング」を信頼する必要があります。
まとめると、私たちが他の人に嫌悪感を持つ原因は次のとおりです。
私たちが欲するものを得るために、まず神に信頼することをしていない。神からの助けが必要だと思っていない。

私たちが神の御心と神の時を信頼したくない。自分の思いと自分のタイミングでやりたい。

(2)神に背く者たち

4－5節でヤコブは続けます。「神に背く者たち、世の友となることは神の敵となることだと知らないのですか。世の友になろうとする者は、自らを神の敵とするのです。それともあなたがたは、聖書が空しい言葉を語っていると思うのですか。私たちの内に宿った霊が、妬みに燃えるのです。」
（口語訳では「神は、わたしたちの内に住まわせた霊をねたむほどに愛しておられる」）

ヤコブは自分の欲望が原因で他人に対して恨みを抱いているとき、私たちが「姦淫」をしていると言います。

クリスチャンとして、私たちはイエスの花嫁なのです。イエスを喜んで受け入れる決意をしなければなりません。私達は神に信頼し、神のやり方で神の定めた時を知り、人生をかけて従っていく者たちなのです。

しかし、私たちが自分自身を信頼し、自分のやり方でタイミングを選んで問題を解決しようとするとき、私たちは神の目には「霊的な姦淫」をしているようだとヤコブは言います。これを許すとき、教会はこの世と何ら変わりのないものになってしまうのです。
神は、私たちが神のもとに帰るよう、ねたむほど愛しておられるのです。
私はこの箇所からケント・ヒューズ師が語られたある実験を思い出します。実験では、色が塗られた段ボールの蝶が大きい場合、オスの蝶は同じ種類の生きているメスの蝶を気にも留めず、段ボールの蝶を好むことが分かりました。

段ボールの蝶が自分よりも大きく、メスの蝶よりも大きい場合、オスの蝶は偽物の蝶のところに行き、本物のメスの蝶を気にも留めません。

これは私たちが神に対してよく行ってしまうことです。神の元に行き、神に信頼する代わりに、偽りの神の元に行ってしまうのです。つまり、この世の人々と同じように、自分自身という偽りの神の元に行ってしまうのです。神は大きな愛をもって、私たちが争いから解放されるために、神の元に戻り、神に信頼すること、神に従うことを心から願っているのです。

(3)神が私たちを高くしてくださる

4章6節から10節です。「しかし神は、それにまさる恵みを与えてくださいます。そこで聖書はこう語るのです。／『神は、高ぶる者を退け／へりくだる者に恵みをお与えになる。』ですから、神に従い、悪魔に立ち向かいなさい。そうすれば、悪魔はあなたがたから逃げ去ります。神に近づきなさい。そうすれば、神は近づいてくださいます。罪人たち、手を清めなさい。二心のある者たち、心を清めなさい。嘆き、悲しみ、泣きなさい。あなたがたの笑いを悲しみに、喜びを憂いに変えなさい。主の前にへりくだりなさい。そうすれば、主があなたがたを高くしてくださいます。」

しかし、ここに良い知らせがあります。たとえ私たちが「愚かで罪深かった」としても、神は私たちの愚かさと罪深さを乗り越えるためにより大きな恵みを与えてくださいます。では、どのようにして与えてくださるのでしょう？ ヤコブは、「神に従い、悪魔に立ち向かいなさい」と言っています。
「神に従う」とは、「自分自身を神の主権の下に置き、神の命令にすべて従う」ことを意味します。神の命令には、従うのが難しい命令や奇妙に思える命令も含まれます。次のように感じるとき、

教会の兄弟姉妹が親切ではないとき
夫や妻が、自分がして欲しいことをしないとき
上司や同僚の判断力や態度が悪い思ったとき

私たちは神に従い、悪魔に抵抗しましょう。これらの人を許し、愛します。私たちは彼らに従い、仕えます。しかし、ここで問題が出てきます。このようにすると心に決めることはできます。でも、翌日また同じことをされたら、私たちはまたイライラしてしまうでしょう。

どうしたら良いのでしょう？ ヤコブは「嘆き、悲しみ、泣きなさい。あなたがたの笑いを悲しみに、喜びを憂いに変えなさい」と言います。神に心から求めてください。

問題は兄弟姉妹、上司、同僚、伴侶や私たちの心を乱す人たちの中にあるのではありません。問題は、神の御心を行うことができない根っからの罪びとである私の内面にあるのです。
十字架の元に来ましょう。自分の罪を告白して、許しを求めましょう。
神に助けを求めましょう。「自分のやりかたで物事を行いたくありません。あなたのやり方で行いたいのです。あなたを信頼するように助けてください。あなたの御言葉に従えるように助けてください」と言いましょう。

ヤコブは「主の前にへりくだりなさい。そうすれば、主があなたがたを高くしてくださいます」と言っています。
これが、私たちが正しい動機で願うようになる方法なのです。このようにして、私たちの祈りが聞き入れられていくのです。

これが、今日、皆さんと「聖餐式」をする理由です。
一体私たちは何者なのか？
イエスが十字架の上で私たちのためにしてくださったこと、
そしてイエスが復活を通して、私たちに約束してくださったことを心に留めるためです。イエスをあなた自身の主であり救い主であると受け入れていない方があれば、今日受け入れましょう。 あなたの希望をイエスに置いてください。祈りましょう。



賛美を歌いながら主の聖餐を受ける心の準備をしましょう。歌の後、聖餐式を共に行いましょう。

歌

聖書朗読の後、案内係が、
列ごと、セクションごとに前に来るように案内します。
まず一階の方、次にバルコニーの方が降りてきます。
前へ来る時は左通路、席へ戻る時は右通路をご利用ください。
前に来たら、アルコールで手を消毒し、袋を一つお持ちください。各袋にはパンとぶどうジュースが入っています。
席に戻っても、袋を開けないでください。全員に配られたら、一緒に開けます。

・イエスを信じている方は、ぜひ聖餐式に参加してください。
・まだクリスチャンでない方は、席で見てくださるようお願い致します。案内係が合図を出しても、座ったままでどうぞ。他の方を気になさらないで結構です。
第一コリント 11章23節－29節

案内係の指示に従ってください。前に進み、手を拭いていただいて、1セットを取って、席に戻り、全員が準備できるまで、ご自身の心を省みていてください。

その後、一緒に開けます

―聖餐礼拝―

•一緒に祈りましょう。

•袋の上部を2/3開けて、パンを取り出しましょう。［食す］

•2番目の部分を開けましょう。 ［飲む］

•使用済みのカップは、前にある紙カップに置いてください。 ［献金の祈り］

指定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書 協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 2018

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール：cc@tokyobaptist.org
もしくは：https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
（毎週届くメールニュース）
http://t-b-c.us/tbclife

SG レッスンの PDF
https://t-b-c.us/sg5022jp

オンライン献金
http://t-b-c.us/give

スモールグループ参加申込み
http://t-b-c.us/sgsu

奉仕者募集中！

1．週末礼拝メッセージ翻訳者
1か月半に1度くらいのペース
自宅での作業になります。
英語を日本語へ翻訳します。

2．日本語字幕オペレーター
月 1 回～各礼拝の時間（特に 3 時、5 時の礼拝募集）の字幕のページをめくる奉仕です。英語を聞いて日本語がどの翻訳部分かわかる程度の英語力が必要です。操作は矢印キーを押すだけの簡単なものです。

3．日本語字幕作成/オペレーター
月 1 回～土曜日 16 時～
プロプレゼンターというソフトで翻訳された原稿を字幕に落とします。操作は簡単で1回のトレーニングで作成できるようになります。作成に1時間くらいかかります。その後 19 時からの字幕オペレーターもお願いします。

4．日本語レイアウト&印刷（女性募集）
月 1 回～土曜日 16 時～
TBC に来て作業します。この今見ている紙を作成してもらう作業です。ひな形に翻訳された原稿を入れて、読みやすくレイアウトし、印刷してもらいます。MS WORD が使える女性を募集しています。 英語力不要